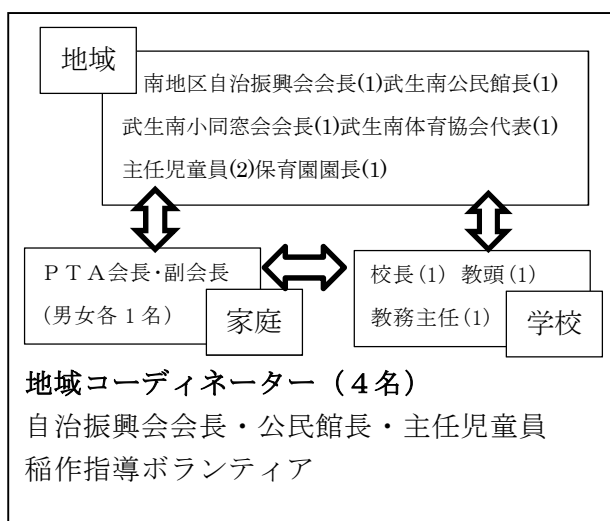


## 1 「家庭・地域・学校協議会」の設置と運営

### (1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



### (2) 協議会の内容

- ① 開催回数 年3回
- ② 開催日程  
6月13日(木)、11月9日(土)  
2月25日(火)
- ③ 協議内容
  - ・スクールプランの検討
  - ・家庭、地域、学校の連携方法
  - ・子どもの見守り、安全対策
  - ・子どもの生活習慣の改善
  - ・学校評価アンケート結果の検討
  - ・次年度の学校運営への提言

### (3) 協議会における成果と課題

- ・南地区振興会の企画するニコ・サン祭りに参加させていただく中で協議会員から積極的なご意見をもらえた。地域と学校がつながっていると実感できる会話が進み、事業を継続していくにはどうするといったかなど、マンネリ化せず協議会が新しい決定をくだす場になっていった。

## 2 地域と進める体験活動

### (1) 活動のねらい

- ①地域のひと協力して行事に参加することで、地域貢献の気持ちを育てる。
- ②合唱の指導を受けて機会あるごとに歌声を披露し、多くの人と交流をもつ。

### (2) 活動の実際

#### ①「ドリームランド」(5・6年15名)

地域の祭りに小学生だけで運営する店(ドリームランド)を出し空き缶積みとくじ引きをして景品を渡した。お客さん呼び込むところから空き缶積みの手伝い、励まし、景品の手渡しなど幼児から大人までコミュニケーションをとりながら店を盛り上げた。



#### ②「虹の輪合唱団」(3~6年 30名)

放課後週3回の定期的練習をしている合唱団に、地域から指導者を招いて、教員の負担軽減・持続可能な活動を目指してきた。指導していただいた成果を地域に出て行って、ステージ発表や歌の集いに参加することで多くの人に聞いてもらった。

### (3) 地域コーディネーターの活動概要

- ・祭り実行委員と学校の間をつないでいただいた。また地元の合唱指導者を推薦していただいた。

### (4) 特に工夫した事項

- ・残り1年で事業が終了するため、その後どのように継続していくか模索しながら、活動自体を見直し、多くの団体に協力してもらえるよう声かけを怠らなかった。

### (5) 成果と課題

- ・2年目となる活動のため、多くの方に認知されるようになった。今後は働き方改革を推進しながら、地域の要望にもできるだけ応える形で、地域に開かれた学校作りに取り組んでいく。授業で学習した知識・理解・表現を実際の活動の中で生かしていかなければならない。